

継続事業評価シート(対象:H28年度実施事務事業)

H29年度評価

事務事業名	市内循環バス運営事業					事務事業コード	03802
部名	都市建設部	課名	まちづくり推進課	係名	交通政策係	部課コード	050100

1. 事業概要

総合計画コード	5232	5521			
事業年度	H 6 年度 ~ H 年度	事業類型	<input checked="" type="radio"/> ソフト事業 <input type="radio"/> ハード事業		
法令等の義務付け	<input type="radio"/> 法令等(市条例・要綱等を除く)で義務付けられている事業 <input type="radio"/> 義務と任意の両方を含んでいる事業 <input checked="" type="radio"/> 任意(市条例・要綱等を含む)の自治事務		<根拠法令等(法律、条例、要綱など)> 朝霞市超低床ノンステップバス等導入促進費補助金交付要綱		
めざす目的成果	通勤・通学の利便性の向上、公共施設の利用促進、路線バスが運行されていない地域の交通手段が確保できている。				
事業内容	バス運行契約業者3社と協定を締結、運行に係る経費のうち運賃を除いた経費を助成する。				
事業手法	<input type="checkbox"/> 市の完全な直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託等(請負、負担金、交付金等を含む) <input type="checkbox"/> 市民等との協働 <input type="checkbox"/> 補助金交付 バス運行契約事業者3社(東武バスウエスト(株)、西武バス(株)、国際興業(株))と協定を締結、運行に係る経費のうち運賃を除いた経費を助成する。				

2. 実施結果

H28年度の事業の実施内容		運行概要 路線数 (4路線、運行距離36.4km、バス停数53箇所、運行数平日87本、休日71本) 乗車人数 400,000人、1日平均1,096人 補償料 (3社の合計 67,654,421円)				
		単位:千円	H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算見込	
投入コスト	a 事業費[イ]~[ホ]		77,688	65,375	70,030	
	財源内訳	[イ]国庫支出金				
		[ロ]県支出金				
		[ハ]地方債				
		[ニ]その他				
	[ホ]一般財源		77,688	65,375	70,030	
	b 人件費		3,664	6,595	5,862	
	総コスト(a 事業費 + b 人件費)		81,352	71,970	75,892	
投入労働量	常勤職員等(人工)		0.50 人	0.90 人	0.80 人	
	一般職非常勤職員等(時間)		時間	時間	時間	
a 事業費(H28年度決算見込)の執行内訳	需用費 701千円 委託料 1,653千円 工事請負費 22千円 補償、補填及び賠償金 67,654千円					
指標名		単位	H28目標・計画 (H28実績見込)	H29目標・計画 (H29実績見込)	H30目標・計画 (H30実績見込)	最終目標・計画 目標年度
活	① 運行数(平日)	便	87	87	87	H 32 年度
			(87)	()	()	
動	② 運行数(休日)	便	71	71	71	H 32 年度
			(71)	(—)	(—)	
成	① 年間利用人数	人	383,000	391,000	399,000	H 32 年度
			(400,000)	(—)	(—)	
果	②					H 年度
			()	(—)	(—)	

3. 事務事業の分析

必要性 (市が関与する必要性はあるか)	判定	<input type="radio"/> A 必要性が高い	<input checked="" type="radio"/> B 必要性がある程度認められる	<input type="radio"/> C 必要性が低い
		<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input checked="" type="checkbox"/> サービスの拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、市に実施が義務付けられている <input type="checkbox"/> 市が実施しないと、市民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で難しい <input checked="" type="checkbox"/> その他 <説明> 市内循環バスは、各公共施設間を結び、路線バスの通らない公共交通空白地区の住民の公共交通機関として多くの市民に利用されている。交通弱者である高齢者、障害者等への交通手段の確保も考慮すると市の関与は必要である。		
達成度 (事業の目標は達成したか)	判定	<input type="radio"/> A 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="radio"/> B 概ね目標の成果が得られた	<input type="radio"/> C 目標とする成果が得られなかった
		<input checked="" type="checkbox"/> 活動指標の目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標を達成した <input type="checkbox"/> 指標に表れない事項について目標を達成した <input type="checkbox"/> その他 <説明: 指標の達成状況及び改善等に関する達成状況を記入> 利用者人数は、毎年、増加傾向にあり、平成28年度実績も目標を大きく上回る見込みとなっていることから、目標は達成できている。		
留意点 (政策の立案・推進に際して)	<説明: 留意した点について記入> 思いやり: 運行路線等見直しにあたり、交通空白地区を解消するよう考慮した。 参加と協働: 運行路線等見直しにあたり、住民説明会を実施し、運行ルート周辺の市民から意見を伺った。 経営的な視点: 一部のバス事業者において、老朽化し故障がちな天然ガス使用の車両を軽油使用の車両に交換した。			
見直し余地 (事業の内容、実施手法等は適切か)	判定	<input type="radio"/> I 見直す余地がない	<input checked="" type="radio"/> II 見直す余地がある程度認められる	<input type="radio"/> III 見直す余地がある
		<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 受益者負担のあり方について見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト圧縮の余地がある <input type="checkbox"/> その他 <説明> 市民からの要望等を受け改善すべき点について、平成27年3月市内循環バス検討委員会より提言書が提出され、これを受けて平成29年度に新路線での運行を進めていく。		

4. 今後の展開方針[課としての判断]

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> A 市で継続実施 <input type="radio"/> B 休止・廃止 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> C 民営化 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> D 国・県に移譲 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> E 終了 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度まで <input type="checkbox"/> H29年度まで <input type="checkbox"/> H30年度まで)			
	成果の方向性	<input checked="" type="radio"/> A 拡大	<input type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
投入資源の方向性	事業費	<input checked="" type="radio"/> A 拡大	<input type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
	労働費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
今後の取組方針	見直しの方向性	<input checked="" type="radio"/> A 見直して継続 <input type="radio"/> B 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 民間委託・PFI・指定管理者等を今後導入・拡大 (実施時期 : H 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善 (実施時期 : H 29 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 対象・水準等の見直し (実施時期 : H 29 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の見直し (実施時期 : H 31 年度) <input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員等の活用を今後導入・拡大 (実施時期 : H 年度) <input type="checkbox"/> 市民等との協働を今後導入・拡大 (実施時期 : H 年度) <input type="checkbox"/> その他 (実施時期 : H 年度)		
	方針 (次年度の改善内容等を含めた具体的な事業の展開方針)	運行経路、ダイヤ、バス車両など平成29年度から全面見直しを行うため、「市内循環バス検討委員会」からいただいた提言書に基づき、新路線での運行準備を進めていき、平成29年10月から新たな運行経路、ダイヤで運行を開始する予定。バス車両の更新も進めていく。		